

(別紙 2) 女性獣医師の活躍推進・男女共同参画の取組みについて

大学名：_____

ご担当者名：_____

次の事項について、該当するものに○を付し、カッコ内にご記入ください。

1. 女性獣医師活躍・男女共同参画を推進するための委員会等が設置されていますか。

はい ・ いいえ

⇒ 「はい」 の場合

①名称（大学全体のものか、獣医師対象のものか）、②構成員（役職、人数、うち女性数）、③主な活動内容、をご記入ください。

⇒ 「いいえ」 の場合

設置予定時期、または設置していない理由等をご記入ください。

2. 女性教員が働きやすい次のような制度がありますか。

①相談窓口

ある ・ ない（設置予定時期： 年 月）

⇒ 「ある」 の場合、どのような窓口ですか。

(a)専用の部屋： ある ・ ない（メール対応： ある ・ ない）

(b)対応者（職種等）：

(c)対応時間： 時～ 時

②フレックスタイムの設定

ある ・ ない（検討状況、予定、設定しない理由等をご記入ください。）

③テレワークの導入

ある ・ ない（検討状況、予定、導入しない理由等をご記入ください。）

④短時間勤務の教員用の給料表

ある ・ ない (検討状況、予定、作成しない理由等をご記入ください。)

⑤短時間勤務の際の研究補助員の雇用

ある ・ ない (検討状況、予定、実施しない理由等をご記入ください。)

⑥育児や介護を行っている者に配慮した対応策

ある ・ ない (検討状況、予定、実施しない理由等をご記入ください。)

⑦その他、具体的にご記入ください。

(女性教員の連携・交流の場等の有無や、取組みを行った場合の問題点等も自由にご記入ください。)

3. 卒業生のための次のような取組みを行っておられますか。

①卒業生の就職後における進路変更を把握しておられますか。

はい ・ いいえ

⇒ 「はい」 の場合、どのように行っておられますか。

(a) 大学全体として ・ 研究室によって ・ その他 ()

(b) 把握の方法 (〇年ごとに調査を行っている、等)

②転職を希望している、離職し再就職を希望している・迷っている等の卒業生が利用できる相談窓口はありますか。

はい ・ いいえ

⇒ 「はい」 の場合、どのように行っておられますか。

(a) 大学全体として ・ 研究室によって ・ その他 ()

(b) 窓口の形態：

対面 ・ HP から ・ メール ・ その他 ()

(c) 利用状況、問題点等ご記入ください。

()

4. その他

①「女性獣医師応援ポータルサイト」をご存じですか。

はい ・ いいえ

⇒ 「はい」 の場合、

貴学（学部・学科）のHPにリンクしてご活用いただいていますか。

はい ・ いいえ

②貴学（学部・学科）の男女共同参画・女性獣医師活躍促進のためのHPを「女性獣医師応援ポータルサイト」にリンクさせていただくことはできますか。

はい ・ いいえ

③ご意見・ご要望があれば何でもお聞かせください。

[]

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

本件のお問合せ先

公益社団法人 日本獣医師会

事業担当：堂領

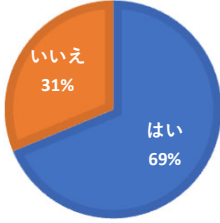
Email : doryo@nichiju.or.jp

TEL : 03-3475-1601

FAX : 03-3475-1604

女性獣医師の活躍推進・男女共同参画の取組みについての調査結果

1. 女性活躍推進・男女参画を推進するための委員会が設置されていますか

割合	<ul style="list-style-type: none"> ・はい：13大学（69％） ・いいえ：3大学（31％） 	
①名称	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画推進室 ・男女共同参画委員会 ・男女共同参画推進センター会議 ・ダイバーシティ推進室 ・ダイバーシティ推進委員会 ・女性未来育成機構 ・女性研究者支援センター 	
②構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・副学長及び学長補佐のうちから学長が指名する者、男女共同参画推進室長が指名する者、各学系より選出された者、総務部長、総務部人事課長、男女共同参画推進コーディネータ、計20名（うち女性14名） ・特任教授、委員（教員、職員）、事務職員、計20名（うち女性16名） ・研究部長、人事委員会委員長、各学科から選出された教員、事務局長、庶務課課長、学長が指名した者、計11名（うち女性3名） ・教職員等、計12名（うち女性7名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・副学長、教員、職員等、計10名（うち女性5名） ・副学長、理事、事務局長等、計33名（うち女性1名） ・副学長、特任研究員、事務職員等、計6名（うち女性4名） ・副学長、運営局特命部長、教職員等、計11名（うち女性7名） ・副学長、カウンセラー、事務系職員、事務補佐員（うち女性4名） ・副学長、医学部附属病院長、事務局長、教員等、計14名（うち女性5名）
③主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画を推進するための具体的な企画立案と実施及び実施に係る支援 ・研究補助員（支援者）配置制度、メンター制度、サイエンス夢追い人育成プロジェクト、女性研究者支援のための人材バンク、女性獣医師休憩室の設置など ・環境整備、研究支援、研究者育成等 ・ダイバーシティに係る推進体制の確立、教育・研究活動及び就業の場におけるダイバーシティの啓発と推進、学生に対するダイバーシティに係るキャリア教育、法人組織のしあわせキャリア支援センターとの連携、ライフワークバランスに関する事 	<ul style="list-style-type: none"> ・学内における男女共同参画推進に係る業務 ・ワークライフバランスの推進、女性研究者支援、ダイバーシティ推進に係る企画・立案・実施、情報収集・分析・広報・啓発を行う ・全学における男女共同参画推進に関する基本方針、男女共同参画推進に係わる方策の策定、男女共同参画推進の点検・評価及び改善、その他男女共同参画推進に関する事の審議を行う ・男女共同参画に関する事、教職員のライフワークバランス支援及び環境整備に関する事、女性研究者の支援に関する事、女性研究者の支援に関する事、次世代研究者育成支援に関する事
設置時期、設置しない理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討課題である ・記載なし 	

女性獣医師の活躍推進・男女共同参画の取組みについての調査結果

2. 女性獣医師が働きやすい次のような制度がありますか						
	①相談窓口	②フレックスタイムの設定	③テレワークの導入	④短時間勤務の教員用の給与表	⑤短時間勤務の際の研究補助員の雇用	⑥育児や介護を行っている者に配慮した対応策
割合	<p>(相談専用の部屋)</p>					
検討状況、予定、設置しない理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・設置予定時期は未定 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁量労働制のため ・診療業務はフレックスタイムで対応できない場合があるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁量労働制のため ・研究業績を上げることが困難になるため ・現在試行中・策定予定である ・検討していない 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁量労働制のため ・勤務時間に応じて算出している ・該当者がいないため 	<ul style="list-style-type: none"> ・予算上の都合のため ・該当する職種がないため ・部門内で不足業務対応を行っている ・今後検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討する
備考	<p>【対応者】 男女共同参画推進室員、相談員、教員、事務職員、特任教授(コーディネーター)、(専任)カウンセラー、看護師、メンター(先輩研究員)、ハラスメント委員等</p> <p>【対応時間】 ・随時 ・特に決まりなし ・8:30/9:00～16:00/17:15</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言中のみ可能としている 		<ul style="list-style-type: none"> ・育児中の教員が対象の制度がある 	
その他(具体的に記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性教員の交流や共同研究推進をサポートしている ・女性研究者交流会を実施、女性教員自らが企画・運営する「国際シンポジウム」を開催している。 ・女性教員の連携・交流の場を大学全体で設けている。 ・学部ごとの女性教員メーリングリストにより連携や情報共有を行っている。 ・男女共同参画推進室が毎月「カモミール通信」を発行し、学内に事業等の紹介、あるいは女性教員の活躍推進・男女共同参画についての啓蒙活動を推進している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・女性研究者昼食懇親会の開催や、女性研究者ロールモデルとして本学副部長・ダイバーシティ推進室長と懇談できる機会として、毎月1回副学長室を開放している。また、ライフイベントを抱えた教職員同士のネットワーク構築の場を設けている。これらを複数回開催することで、都合のつく日時に参加できるよう配慮している。 ・近隣大学や会社等の連携機関が各々の特性を活かして連携し、共同研究を通じて女性研究者の研究力を強化するとともに、地域内での女性研究者の流動性を高めつつ、安定した活躍の場を確保することによって、地方創生にも繋げるプログラムを行っている。女性研究者比率向上と女性研究者の上位職(教授・准教授)登用を積極的に進めることを目標としている。 			

3. 卒業生のために次のような取組みを行っておられますか	
	①就職後における進路変更について把握されていますか
割合	<p>(把握のための窓口)</p>
備考	<p>【把握の方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随時、本人からの連絡による ・同窓会報の編集時 ・4～5年毎に調査を行っている研究室も存在する
	<p>②卒業生が利用できる相談窓口はありますか</p> <p>【窓口の形態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メール ・対面 ・電話、HP等 <p>【利用状況・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正式な窓口はないが、在学時の指導教員が窓口になっている ・個別面談を実施している (Web ミーティングも活用している) ・利用が少ない、十分に機能していない ・連絡のない卒業生には対応ができない